



# てとてと通信

てとてとは手と手とのてとてと。みんなで手をつなぎ子育てできるといいですね！



尼社協本部  
引っ越します！

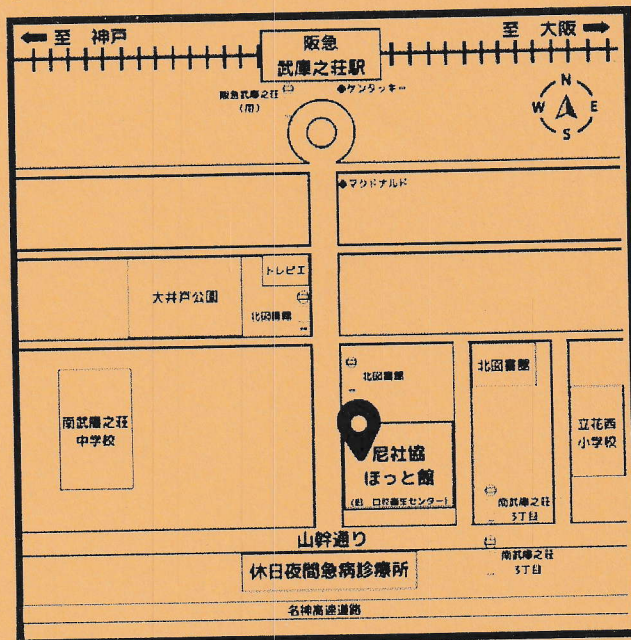
2023年3月20日～

〒661-0033

尼崎市南武庫之荘3-24-5  
尼社協ほっと館 3階

子ども・家庭支援グループ

☎06-4950-8862



ファミサポ説明会 (予約)

令和5年2月17日(金)  
10:00～16:00

@市役所北館2階

お近くに頼れる人がいなくて不安な方、また子どもが好きで子育てのサポートや時間の有効活用をしたい方、ぜひファミリーサポートセンターへの登録をおまちしています。

(予約・お問い合わせは下記ファミリーサポートセンター窓口まで)

- 利用(サポート内容・保育所・児童ホームへの送迎やその後の預かり等)
- 対象年齢・・・0歳から小学6年生
- 利用料金(報酬・・・1時間 800～900円)

## たなごころ -如月-

掌(たなごころとは“手の心”という意味。手のひらを開くことは、自分の心を開くこと。職員もちょっと心を開いて話してみます。

新年を迎えてあっという間に一か月が過ぎました。夫と二人暮らしの中で年を重ねていくとお互い小さい頃に経験した風習がさりげなく出ているものだと思ひました。お正月のあとの七草粥もそのひとつ。毎年何気なく食べていましたが考えてみたら、私自身は小さい時七草粥の習慣は、ありませんでした。その季節になると買い物の時にお粥に入れる野菜を選ぶのは、いつも夫でした。豆まきの季節は、私が選んでいるなあ...とか今頃になってですが改めて思い巡らせると習慣や風習は、お互いが育ってきた中で経験したものをいろいろ積み重ねて何十年もかけて我が家のものになっていっていました。そうは言っても大した風習があるわけではないのですが(笑)。子どもが大きくなる中で、どんな経験が子どもの中に残っていて、そこで自分なりの生活様式の中どういうことを選んで紡いでいっているのかは、わかりません。育ちの中で様々な体験が増える中、小さかった頃のことを思い起こす瞬間があれば親としては嬉しいなと、思います。皆さんには、この一年も家族みんなで様々な経験を積み重ねてもらって、どんなことが未来の子ども達に繋げていけるのかを楽しみにして“今”の子育ての時間を過ごしてもらいたいなと思います。(S.U)

お問い合わせ 2023年3月17日まで！

〒660-0828 尼崎市東大物町1-1-2 尼崎市社協会館内 尼崎市社会福祉協議会

TEL: 06-6489-3550 (おやこの森)

TEL: 06-6489-3067 (ファミリーサポート事業専用)

※HPもご覧くださいね!! <http://amasyakyo.jp/familysupport/>

